

大阪府の発展的解消を視野に入れ府内全域を改革!

おおさか政令市プラン

大阪府の権限と財源を地域に徹底的に移譲し、
政令市なみの権限を有する自己決定できるまちを創る、
それが「おおさか政令市プラン」です。

現状

- 事業をするには、市町村は大阪府へ要望しないとイケない
- 大阪府と市町村間の責任の所在が不明確である
- 毎年、同じ要望ばかり繰り返し、実現していない



政令市プランを実現すると

- 国と直接交渉でき、
▶ 『要望するだけの行政』からの脱却が出来る
- 自分たちのことは自分たちで決める、
▶ 『責任行政』の確立ができる
- 大阪府の権限が市町村に移譲されるから
▶ より住民に寄り添った行政サービスが実現できる



大阪府の権限と財源を地域に徹底的に移譲する!

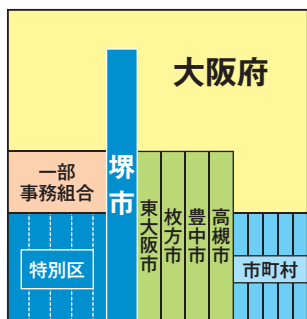
政令市とは

- 市(一般市・中核市・政令市)の中で権限と財源が最も豊富
- 名称は「市」だが、政令市の権限は、都道府県とほぼ同等
- 自らのまちのことを自ら決定できる権限と財源を有する
- 大阪府を経由しなくても、国と直接交渉することができる

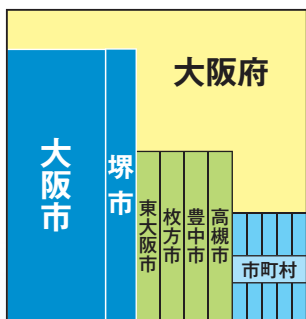


現在の市町村との比較

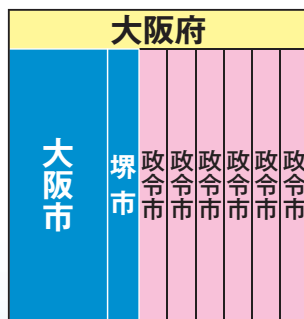
都構想



現在



政令市プラン



	都構想
提案	前回と同じ内容(再提案)
範囲	大阪市域のみの改正
影響	大阪市民のみに影響
分権	道州制・分権に逆行
大阪府の将来	大阪府に権限が集中
大阪市の将来	大阪市は廃止され、特別区に分割・再編
市町村の将来	大阪府への要望行政がつづく

権限と財源が増えて自己決定できるまちへ

大阪府の協力がないと進まない事業が多い

	政令市プラン
新しい大都市制度	
大阪府域全体の改革	
大阪府民全体に恩恵	
道州制・分権につながる	
大阪府は発展的に解消	
大阪市は将来の州都をめざす	
自らのまちのことを自ら決定できる	

今後の流れ

- 市町村との意見交換
- 市町村の実情や機能を調査・研究・把握
- 市町村間の連携を協議・促進する場の設置
- 大阪府のインセンティブを検討
- 国への働きかけを検討・実施
- 市町村は、地域の実情に応じ、府からの権限移譲が可能となるよう体制を整備
- 市町村の実情に合わせ、順次、大阪府の権限を移譲

最終的には、大阪府を発展的に解消!